



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長

(氏名) 井藤 直樹

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,888	△5.1	419	25.9	547	47.8	340	70.6
24年3月期第1四半期	33,596	10.6	333	△20.3	370	△17.4	199	△6.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 138百万円 (24.8%) 24年3月期第1四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.05	—
24年3月期第1四半期	7.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	60,196	32,704	54.3
24年3月期	60,676	32,813	54.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 32,690百万円 24年3月期 32,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,500	0.1	1,300	33.5	1,300	26.2	600	7.8	22.99
通期	136,000	0.5	2,600	0.6	2,600	1.2	1,400	4.3	53.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
 - ④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	26,535,508 株	24年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	402,623 株	24年3月期	438,623 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	26,114,052 株	24年3月期1Q	26,001,498 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式（25年3月期1Q 350,700株、24年3月期 386,700株）を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の増加や震災の復興需要等を背景に緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州の政府債務危機の再燃や電力供給の制約など、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

飼料業界におきましては、現在は米国の熱波による穀物の収穫量減少及び穀物相場の高騰が懸念されておりますが、当第 1 四半期連結累計期間は、主原料のとうもろこし価格が、米国产の順調な生育が見込まれていたことやブラジルの冬とうもろこしの増産等から値を下げました。しかしながら大豆油粕は、南米の干ばつにより大豆相場が高値圏で推移していることから、大幅に上昇しております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は 4 月に配合飼料価格を値上げしましたが、前期の下期以降 2 度の値下げを行っていることから、平均販売価格は前年同四半期を下回っております。

このような状況のなか、当社グループは、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、売上高318億88百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益 4 億 19 百万円（前年同四半期比25.9%増）、経常利益 5 億 47 百万円（前年同四半期比47.8%増）、四半期純利益 3 億 40 百万円（前年同四半期比70.6%増）となりました。

主力の畜産飼料が平均販売価格、販売量ともに前年同四半期を下回ったことにより、売上高は、5.1%の減収となりました。経常利益は、飼料価格安定基金負担金の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益率の上昇、営業外収益の増加などがあったため、47.8%の増益となりました。四半期純利益は、特別損失の減少などにより、70.6%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（飼料）

前年同四半期と比較して、平均販売価格が下回ったことと畜産飼料販売量が若干減少したことから、売上高は、前年同四半期比6.4%減の265億77百万円となりました。セグメント利益は、飼料価格安定基金負担金が増加したものの、原料ポジションの改善や貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年同四半期比97.4%増の 3 億 93 百万円となりました。

（コンシューマー・プロダクト）

ペットフードの販売量が増加して、売上高が増加したものの、自社開発の畜産物売上高が減少したことにより、売上高は、前年同四半期比0.8%減の36億71百万円となりました。ペットフードの積極的な販売戦略による販促費の増加や畜産物取扱量の減少により、セグメント利益は、前年同四半期比25.6%減の50百万円となりました。

（その他）

売上高は、前年同四半期比9.0%増の16億39百万円、セグメント利益は、前年同四半期比60.7%減の53百万円となりました。売上高が増加した主な理由は、畜産用機器の販売台数が増加したためであります。セグメント利益が減少した主な理由は、横浜流通倉庫の利益が減少したためであります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 4 億 80 百万円減少の 601 億 96 百万円となりました。流動資産は 349 億 28 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 7 億 87 百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が 5 億 20 百万円、原材料及び貯蔵品が 3 億 50 百万円減少したことによるものであります。固定資産は 252 億 67 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3 億 7 百万円増加しました。これは主に無形固定資産が 1 億 20 百万円、投資有価証券が 1 億 4 百万円減少したものの、建設仮勘定が 6 億 95 百万円増加したためであります。

（負債）

当第 1 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ 3 億 71 百万円減少の 274 億 91 百万円となりました。流動負債は 232 億 58 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2 億 10 百万円増加しました。これは主に未払法人税等が 8 億 9 百万円減少したものの、短期借入金（1 年内返済予定の長期借入金を含む）が 12 億 59 百万円増加したためであります。固定負債は 42 億 32 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5 億 82 百万円減少しました。これは主に、長期借入金が 3 億 40 百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 1 億 8 百万円減少の 327 億 4 百万円となりました。これは主に繰延ヘッジ損益が 1 億 34 百万円減少したことによるものであります。純資産の減少を総資産の減少が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ 0.2 ポイント増加の 54.3 % となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月8日の決算短信で公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995	593
受取手形及び売掛金	25,900	25,379
商品及び製品	1,841	1,902
仕掛品	468	533
原材料及び貯蔵品	5,167	4,816
その他	1,642	2,025
貸倒引当金	△299	△323
流動資産合計	35,716	34,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,482	6,440
機械装置及び運搬具（純額）	4,437	4,429
工具、器具及び備品（純額）	657	673
土地	7,148	7,148
建設仮勘定	717	1,412
有形固定資産合計	19,443	20,105
無形固定資産		
のれん	85	66
その他	1,999	1,898
無形固定資産合計	2,085	1,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,969	1,864
長期貸付金	1,252	1,190
その他	967	840
貸倒引当金	△758	△697
投資その他の資産合計	3,431	3,197
固定資産合計	24,960	25,267
資産合計	60,676	60,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,115	9,957
短期借入金	8,100	9,010
1年内返済予定の長期借入金	958	1,308
未払法人税等	866	56
賞与引当金	336	230
役員賞与引当金	38	—
資産除去債務	78	78
その他	2,554	2,618
流動負債合計	23,047	23,258
固定負債		
長期借入金	3,098	2,757
退職給付引当金	354	369
債務保証損失引当金	88	88
資産除去債務	81	82
負ののれん	129	107
その他	1,061	828
固定負債合計	4,814	4,232
負債合計	27,862	27,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	27,677	27,752
自己株式	△274	△251
株主資本合計	32,451	32,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	279
繰延ヘッジ損益	14	△119
為替換算調整勘定	—	△17
その他の包括利益累計額合計	361	141
少数株主持分	—	13
純資産合計	32,813	32,704
負債純資産合計	60,676	60,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	33,596	31,888
売上原価	30,451	28,592
売上総利益	3,144	3,295
販売費及び一般管理費		
運賃	621	591
飼料価格安定基金負担金	591	736
のれん償却額	31	19
賞与引当金繰入額	149	143
貸倒引当金繰入額	158	23
その他	1,258	1,362
販売費及び一般管理費合計	2,811	2,876
営業利益	333	419
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	27	49
保管料収入	10	26
負ののれん償却額	22	22
貸倒引当金戻入額	—	35
債務保証損失引当金戻入額	—	0
持分法による投資利益	5	8
その他	32	34
営業外収益合計	104	181
営業外費用		
支払利息	25	23
債務保証損失引当金繰入額	28	—
保管料原価	8	23
その他	4	6
営業外費用合計	67	53
経常利益	370	547
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	—	9
受取保険金	2	—
特別利益合計	3	11
特別損失		
固定資産除売却損	30	3
投資有価証券評価損	6	9
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	38	12
税金等調整前四半期純利益	334	546
法人税、住民税及び事業税	78	57
法人税等調整額	56	150
法人税等合計	135	207
少数株主損益調整前四半期純利益	199	338
少数株主損失 (△)	—	△1
四半期純利益	199	340

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199	338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△67
繰延ヘッジ損益	△112	△134
為替換算調整勘定	—	2
その他の包括利益合計	△88	△200
四半期包括利益	111	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	139
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第 1 四半期連結累計期間（自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,391	3,700	32,091	1,504	33,596	—	33,596
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	149	0	149	6	156	△156	—
計	28,541	3,700	32,241	1,511	33,752	△156	33,596
セグメント利益	199	67	267	136	404	△69	334

（注） 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円、金融収支259百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,577	3,671	30,248	1,639	31,888	—	31,888
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	144	0	144	1	146	△146	—
計	26,721	3,671	30,393	1,641	32,034	△146	31,888
セグメント利益	393	50	444	53	497	48	546

（注） 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円、金融収支266百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、「不動産賃貸」について量的な重要性が減少したため、当第1四半期連結会計期間より、「飼料」及び「コンシューマー・プロダクツ」の2事業を報告セグメントとし、「不動産賃貸」を「その他」のセグメントに含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。